



第191回臨時国会で初登壇。農家のために頑張ることを誓い、山田俊男議員とがっちり握手(2016年8月1日)



自民党台風農林水産業災害対策ワーキングチームの北海道の台風被害調査。2日かけて美瑛町、南富良野町、十勝清水町、芽室町、帯広市、豊頃町、本別町、北見市を巡回(2016年9月16日)



「内政・外交の諸問題等」について集中審議を行った参院予算委員会(2016年10月13日)



自民党HEU等経済協定対策本部のメンバーとして首相官邸へ出向き、EUとのEPAで、国境措置を必ず確保するよう要請(2017年7月4日)



参院農林水産委員会で「集送乳調整金」の要件について質問(2017年6月6日)



自民党「米作りプロジェクト」に推進委員として参加(2017年6月16日)



農協改革について首相官邸で菅義偉官房長官に申し入れ(2016年11月22日)

参院農林水産委員会で初めての質問。平成30年産以降の米政策、指定生乳生産者団体制度と生産基盤の強化、農業所得の向上対策について質問(2016年11月17日)

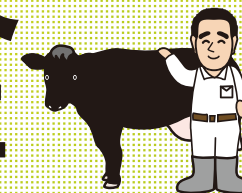


畜産農家の一人として自民党畜産・酪農対策小委員会で積極的に発言(2016年12月6日)



JAグループ各県よりHEU・EPAの農産物関税交渉について要請を受ける(2017年6月27日)

農家の声を全力で国政に届けた1年



熊本地震による被害からの復旧・復興に関する件などの質疑を行った参院災害対策特別委員会(2017年5月29日)



懇親会でたばこ生産・販売の関係者を激励(2017年5月29日)



自民党「米作りプロジェクト」の一環で、党本部が開催した臼杵お披露目式に出席(2017年4月20日)



自民党本部で開催された「みやぎ復興応援フェア」で、JAグループ宮城のメンバーを激励(2017年4月5日)

藤木しんやの4つの思い

国際交渉への対応

多面的機能を維持するために、我が国の重要品目をはじめ農畜産物の再生産を確保します。次を担う若い世代が夢と希望を持って農業に挑戦できるよう、農業者が安心して営農を継続できる長期的な政策の確立に取り組みます。

災害復興および防災対策

私の地元であるJAかみましき管内は熊本地震の震源地であり、甚大な被害を受けました。東日本大震災からの復興も道半ばです。現場の目線で、被災された方々の生活・営農の立て直しや、今後の防災対策に全力を挙げて取り組みます。

農協組織のさらなる発展

JAが大きく変わろうとしています。JA青年部、JA組合長として農協運動に一貫して取り組んできた経験を活かして全国の仲間と力を合わせ、JAグループの自己改革を後押しする政策の確立に取り組みます。

調和のとれた地域社会の形成

農村や地方が活力を取り戻し、豊かな伝統文化が継承されていくことが必要です。そのためにも、厳しい条件の中で農村や中山間地を守っている小規模な家族農業が安定して継続していくことができる政策の確立に取り組みます。